

大阪医科大学 仁泉会ニュース

仁泉会ニュース 第 45 巻 9 号

発行所 高槻市大学町 2 ノ 7
〒569- 大阪医科大学仁泉会

8686 電 話 072-682-6166

FAX 072-682-6636

発行者 河 野 公 一
6,080 部U R L <http://www.jinsenkai.net/>

平成 26 年 12 月号 目 次

1. 仁泉会と台北医学大学との学術及び友好交換に関する協定書の終結を終えて
..... 副理事長 安藤嗣彦 … 2p
2. 受章
〔春の叙勲〕瑞宝双光章 三田 稔先生（学 13 期）..... 学 2 期 藤本正三 … 6p
〔秋の叙勲〕旭日双光章 濱脇弘暉先生（学 11 期）・小谷 泰先生（学 14 期）
瑞宝小綬章 藤川和生先生（学 18 期）
瑞宝双光章 寺井 晋先生（学 7 期）
3. 学窓
西医体のひと言 7p
4. 学会報告
第 41 回日本小児内視鏡研究会報告 学 30 期 余田 篤 … 20p
5. 支部だより
報告 京都仁泉会 音楽の夕べ 学 24 期 森本博子 … 21p
仁泉会阿倍野支部総会と懇親会の報告 学 24 期 福本敏子 … 22p
仁泉会東大阪支部総会と懇親会「6 月小旅行」 学 28 期 三宅直子 … 23p
仁泉会泉州ブロック第 1 回学術講演会 学 25 期 中 透 … 25p
6. クラス会だより
双葉会（学 28 期）クラス会報告 学 28 期 三宅直子 … 26p
大阪医科大学昭和 55 年卒業 庚申二九会同窓会 学 29 期 藤原正隆 … 28p
学 31 期（昭和 57 年卒）同窓会 学 31 期 井尻慎一郎 … 29p
学部 33 期生 卒後 30 周年同窓会報告 学 33 期 雨森正洋 … 30p
平ハクラス会（学 45 期同窓会） 学 45 期 可児弘行 … 31p
7. リレーエッセイ
歴代の犬 学 23 期 三宅ヨシユキ … 32p
8. 会員追悼
今は亡き友、古賀教一郎君に捧げる 学 13 期 藤本 昭 … 33p
9. 仁泉ひろば
どうでもエエ話（5） 学 4 期 西村 保 … 34p
ヨット部創立 35 周年記念総会を終えて 学 53 期 中島祐介 … 35p
10. 会員著書
假野隆司先生（学 23 期） 37p
11. 新聞切り抜き
三宅裕治先生（学 28 期） 38p
村尾 浩先生（学 37 期） 39p
12. 冊子切り抜き
公文 康先生（学 9 期） 40p
西脇健三郎先生（学 21 期） 42p
13. 本部だより
支部長交代 44p
お詫びと訂正 44p
会員計報 44p
14. 編集後記 46p

仁泉会と台北医学大学同窓会との 学術及び友好交換に関する協定書の 締結を終えて

副理事長 安藤嗣彦

大阪医科大学と海外の医科系大学との間で学術及び友好交換の協定を締結している大学は、大学の HP によれば下記の 6 校があり、このほとんどは、大学内に設立された中山医学交流センター（中山交流財団）の事業の一環として行われています。

- 1) アムール医学アカデミー（ロシア）
- 2) ハワイ大学医学部
- 3) 韓国カソリック医学大学
- 4) シンガポール国立大学
- 5) 中国医科大学（瀋陽）
- 6) 台北医学大学

これらの医科系大学とは、主に学生の短期交換留学等が行われていますが、大学同窓会同士での交流はありませんでした。今回、仁泉会は、理事会での承認のもと、台北医科大学同窓会との間で、学術及び友好交換に関する協定書の締結に至りましたので、台北医学大学のプロフィール、締結に至った経緯、式典の様子を報告致します。

台北医学大学

1960 年 私立台北医学院として開校

2001 年 台北医学大学と改称

現在、台北近郊に、医学、歯学、薬学、看護学等の 7 つの単科大学、13 の学部を有する台湾有数の医学系総合大学で、2011 年には、アジアトップ 100 医科大学にもランクされており、特に医学部は 3 つの付属病院（合計 300 床）を有し、学生数は、医学部、大学院合わせて 1700 名の学生がいます。尚、同大学は、今後、高度医療分野にも進出の予定で、2016 年までに、陽子線治療施設の開設を目指し、最近、兵庫県の粒子線医療センター（たつの市）との間で、開設に関する協定を結んでいます。以下に、神戸新聞の抜粋を紹介します。

台北医学大学と大阪医大とは、平成 24 年 3 月 1 日に台北医学の副学長、医学部長、国際交流部



**粒子線医療支援
台北医大と協定
県センター**

県立粒子線医療センター（たつの市）と県の第 3 セクター（ひょうご）粒子線メデイカルサポート（同）などは、粒子線医療施設の開設を支援する台湾の台北医学大と最終協定を締結した。今後、日台の治療の連携や人材育成を本格化する。

粒子線は、抗がん剤や放射線の副作用による合併症の発生リスクを抑える効果が期待される。台北医学大は、粒子線の一種・陽子線の治療施設を 2016 年度末までに開設予定で、粒子線治療の実績がある同センターのノウハウを共有するために、今年 4 月に基本協定を締結した。

6 月 30 日に台北市内で行われた最終協定の調印式では、同センターの不破信和院長と第 3 セクターの岡本周治社長、同大学の閻雲校長らが署名。今後 1 年間、同大からの紹介患者を毎月 2 人治療するほか、同センターでの医師や医学物理士、放射線技師の育成や、同大で使用する治療装置の性能検証も行う。

長を迎え、大阪医大からは、竹中 洋学長、中山太郎本学国際医学医療センター顧問（元外務大臣）出席のもと、既に学術及び友好交換に関する調印式が行われています。

この時、河野理事長は中山国際医学医療交流センター長を務めておられ、台北医学大学同窓会会長の李宏信先生は 1972 年に国費留学生として厚生労働省・国立公衆衛生院修士課程に留学されたときに、河野理事長と同コースのクラスメイトとして共に学ばれた学友でありました。

平成 26 年 8 月 23 日、神戸の中華料理店、第一楼にて、両大学の同窓会の間で、学術及び友好交換に関する協定が締結されました。締結式には、李 宏信台北医学大学同窓会長はもとより、閻雲学長、黄 朝慶医学部長、張 璽小児科准教授、秘書等 7 名の方々が出席されました。両大学の同窓会長が、下記のような英文での協定書にサインしました。ちなみに、日本語の同文も列記しました。

締結式後の懇親会では、両同窓会長、台北医学大学学長、医学部長等の先生方のスピーチが日本語、中国語、英語でありましたが、張先生が日本語に堪能で、中国語の通訳もスムーズに進み、和やかで、友好的な会となりました。



Agreement of Academic and Friendship Exchange
Between
Osaka Medical College Alumni Association
and
Taipei Medical University Alumni Association

Osaka Medical College Alumni Association and Taipei Medical University Alumni Association conclude the following Agreement on academic and friendship exchange with the objective of promoting mutually beneficial cooperation in the fields of medicine.

1. Both parties shall encourage the following activities to expand and promote their mutual interests :
 - a) Exchange of association members
 - b) Joint friendship activities
 - c) Research workshops and symposia
 - d) Exchange of information and academic publications
2. Items pertaining to the implementation of exchange programs based on this Agreement shall be negotiated and agreed upon between the members concerned in each specific case.
3. As to the financial obligation for each party to implement the exchange programs under this Agreement, in principal, the visiting party shall cover the transportation, accommodation and medical expenditures, whereas the host shall provide reasonable assistance for the members.
4. This agreement is valid for three (3) years from the date hereof and will be automatically renewed for successive one (1) year periods unless either party notifies the other in writing of its intention not to renew. This Agreement may also be terminated by either party, in this event, the termination of the agreement shall take effect six (6) months from the date of notice.
5. This agreement may be amended with the consent of both parties.

In witness of the above, this Agreement is executed in two official copies in English and each party will retain one copy.

大阪医科大学仁泉会と台北医学大学医学部同窓会との
学術および友好交換に関する協定書

大阪医科大学仁泉会と台北医科大学医学部同窓会とは医学の分野において相互に有益な協力を促進することを目的として、以下に掲げる学術および友好交換を行うことを締結する。

1. 両者は、以下の活動を通じて相互の利益拡大を推進する。
 - a) 会員の交流
 - b) 友好活動への参加
 - c) 研究ワークショップ、シンポジウムへの参加
 - d) 各種情報、出版物の交換
2. 本協定に基づいて実施される学術および友好交換の内容に関しては、個別の関係者間の交渉によって決定されるものとする。
3. 両者が本協定に基づいて学術および友好交換を実施する場合、訪問側は旅費、宿泊費、医学的治療費を負担し、受け入れ側は合理的に必要と考えられる支援を提供するものとする。
4. 本協定の有効期間は平成 26 年 8 月 23 日から 3 年とする。いずれからも異議申し出のない場合は 1 年間自動的に更新されるものとする。協定の解除はいずれかが申し出てから 6 か月後に行われるものとする。
5. 協定の修正は両者の協議によって行うものとする。

上記の証しに、本協定は 2 部の協定書によって締結され、両者は各 1 部を保管するものとする。

受

章

春の叙勲

平成 26 年春の叙勲に際し、三田 稔君（大阪府学校医会会長、学 13 期）が瑞宝双光章を受章されました。誠にお目出度うございます。

これからも学校保健の発展のため、お力添え頂きます様お願い申し上げます。

大阪府学校保健会会長 藤本正三（学 2 期）



各地で喜びの受章・受賞等あれば、事務局宛書面、新聞等をお送りくださるか、原稿をお届け下さい。本誌にて広く紹介させていただきます。

秋の叙勲

平成 26 年秋の叙勲受章者が下記の通り判明いたしました。母校同窓会として慶事でありますので、ここにご報告させていただきます。

旭日双光章

濱脇弘暉先生（学 11 期）

小谷 泰先生（学 14 期）

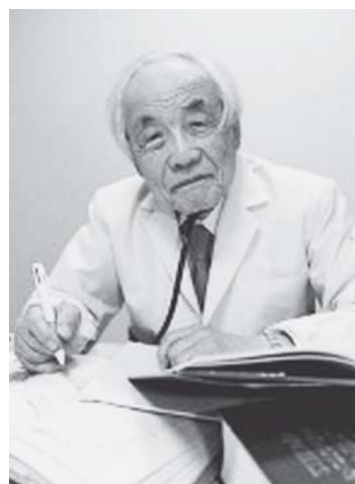
瑞宝小綬章

藤川和生先生（学 18 期）

瑞宝双光章

寺井 晉先生（学 7 期）

雨森正高先生（学 4 期）よりお寄せいただきました 2014 年 11 月 3 日付讀賣新聞掲載の寺井 晉先生の記事をご紹介します。



子どもに命の尊さ伝える

「子どもたちに夢を持ってほしい」と話す寺井さん（東近江市で）

1966 年から 40 年以上にわたり、能登川南小と能登川第一幼稚園の学校医を務めている。「受章は予期しなかったこと。身に余る光栄」と表情が和らぐ。

江戸時代から続く医師の家に生まれ、自身で 5 代目。小学校は祖父の代から、幼稚園は父の代から、子どもたちの健康を見守り続ける。「健診時に 10 分くらい説教をしている」と笑うが、超音波で撮影した胎児の写真を見せたり、心臓の音を聞かせたりと、「命」の尊さを伝える。

「子どもたちが夢や希望を持ち、元気に育っているのがうれしい」と言い、「気力と体力が続く限り続ける」と誓う。（小宮宏祐）

学 窓

西医体のひと言

ゴルフ部

◎主将 前田 敦成

今回は、名門の片山津ゴルフ倶楽部での開催でした。

天候に恵まれず、大変なラウンドでしたが、ベストを尽くしました。

入賞には、あと一歩届かず悔しい思いをしましたが、来年は大阪市立大学に代わって主幹を任せられていることもあり、責任をもって大会を開催すると共に、良い成績を残せるようにこれからも努力していく次第です。



ゴルフ部

女子バレー部

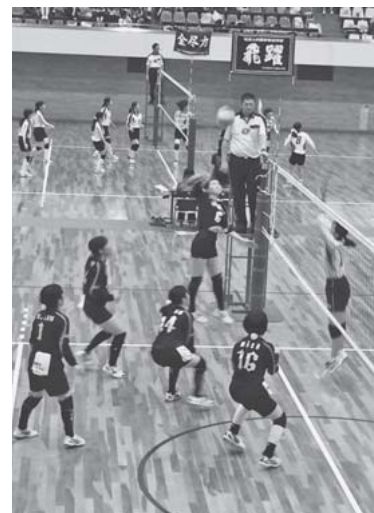
◎主将 清水麻里奈

昨年は涙を吞んだ琉球に一回戦で勝利したもの

の、二回戦敗退。勝てなかった意味をしっかりと受け止め、更に一致団結し、来年の西医体に向け、日々練習に励みます。



女子バレー部



サッカー部

◎主将 小林 孝生

◎主務 松田 達也

[西医体結果]

1 回戦 vs 金沢大学 ○ 2 - 1

2 回戦 vs 神戸大学 ○ 1 - 1 (PK 8 - 7)

3 回戦 vs 京都府立医大 ○ 0 - 0 (PK 4 - 3)

4 回戦 vs 熊本大学 ○ 0 - 0 (PK 5 - 4)

準決勝 vs 鹿児島大学 ● 1 - 3

3 位決定戦 vs 岐阜大学 ● 0 - 1

結果、西医体は 4 位に終わりました。



サッカー部

男子バスケットボール部

西医体を終えて

◎前主将 山村 昌大

西医体では、産業医科大学とあたり、延長戦の末、勝利を収めることができました。私が入学してから、公式戦で勝利したのは初めてでとても嬉しかったです。試合に勝ち、そしてチームで喜びを分かち合うことができた瞬間を、私が入学して

からの四年間で初めて味わったので、私にとって輝かしい瞬間でした。しかし、二回戦では、島根大学とあたり、大差で敗退しました。近畿中国四国大会の優勝校であり、強豪校との力の差を痛感させられました。私自身、ここまで差があるのかと感じました。この経験を生かして、私自身、そしてチームの次のステップアップにつなげていきたいと思います。



男子バスケットボール部

弓道部

来年につながる試合が出来たと思う。

◎主将 伊藤 周



弓道部

バドミントン部

りと、最後まで大変な 1 年間でした。

◎主将 宮元 創士

9 月からは新体制が始まります。今後もバドミントン部をよろしくお願い致します！

台風のために京都駅で 10 時間も足止めされた



バドミントン部



バドミントン部

ハンドボール部

◎主将 村上 倫彦

ハンドボール部の今年の西医体の結果は残念ながら予選敗退という結果になりました。

大会当日には怪我人も出てしまい悔しさの残るものとなってしまいました。

そして、今まで第一線でチームを引っ張っていた先輩方もこの大会で抜けてしまうこととなりましたが、これからはこの事をバネに新たな強いチーム作りに励んでいこうと思います。

そして最後に応援してくださった OB の先生方、本当にありがとうございました。



ハンドボール部

ヨット部

◎主将 武田 翔

今年は浜名湖での開催ということで、普段琵琶湖で活動している私たちは、ヨットをトラックで運搬しなければならず、人数も少ないため出場も難しい状況でしたが、他大学のヨット部や OB の先生方の協力もあり、実に三年ぶりに出場を果たすことができました。

結果は奮ったとはいえませんが、十分いろんな意味で存在感を放つことができたと思います。

競技としてだけでなく、一つの大きな経験として、来年以降につながるいい刺激になったと思います。

スナイプ級 18 校中 15 位

470 級 不参加



ヨット部



ヨット部

ラグビー部

◎主将 廣田 宙自

大阪大学に 0-19 で敗れ、西医体は一回戦敗退

でした。

西医体で、一つでも多く試合が出来るよう頑張りたいと思います。



ラグビー部

空手部

◎主将 満屋 奨

人数の少なかった空手道部ですが、ようやく団体戦に男女ともにフルメンバーで参加できるようになりました。昨年度は人数も足りず、予選敗退という結果でした。しかし、今回は新道場で練習

した成果が出たのか、メンバーに 1 年生も多い中、決勝リーグ進出を決めることができ嬉しく思います。

来年度以降、学年も実力も上がり、優勝を目指せるようになればいいと思います。



空手部



空手部

剣道部

◎主将 井野 隆之

2014 年度西日本医科学学生総合体育大会の剣道部門は 8 月 16 日と 17 日の二日間に渡って繰り広げられました。

結果は、団体戦は男女ともリーグを勝ち上がり

決勝トーナメントに進むことが出来ました。しかし、決勝トーナメントは初戦敗退という結果に終わりました。部員は西医体での勝利を目標として、夏合宿や厳しい稽古に取り組んできました。この悔しさをバネにして来年度の西医体へ勇往邁進して行きたいと思います。



剣道部



剣道部

硬式庭球部

◎主将 佐野 庸平

今回の西医体では、主管校である金沢大学相手

に一回戦負けをきしてしまいました。非常に残念な結果ではありますが、次の大会に向けてまた一から努力します。



硬式庭球部

水泳部

◎主将 伊藤 慧

水泳部は 8 月 8 日から 10 日まで大会が行われました。今年は経験者の人数が少なくなり、去年強かった女子のリレーもポイントが難しい状況でしたが、一人ひとり明確な目標をもって大会に臨みました。一日目はメドレーリレー、男女 100m 自由形、男女 200m 個人メドレー、女子 400m 自由形、男子 800m 自由形が行われました。3 回生の橋本が女子 200m 個人メドレー決勝に駒を進めることができました。ポイントには届かなかったのですがタイムはベスト更新。私も男子 200m 個人メドレーにエントリーしていたのですが、ベストを出せずあと少しのところで予選落ちをしていたので、彼女が決勝の舞台で全力のパフォーマンスをすることを見ていて羨ましいなと思いました。

二日目は男子 400m 個人メドレー、女子 200m 自由形、男子 200m 自由形、女子 100m バタフ

ライ、男子 200m バタフライ、女子 100m 背泳ぎ、男子 200m 背泳ぎ、女子 100m 平泳ぎ、男子 200m 平泳ぎ、男女 200m フリーリレーが行われました。男子 400m 個人メドレーでは荒木が 1 回生にして決勝進出を果たしました。彼は経験者ではあるのですが半年でここまでタイムを戻せて良かったと思っています。私個人は男子 200m 平泳ぎに出たのですがこちらもベストを出せず決勝にいけないでとても悔しい思いをしました。

最終日は男子 400m 自由形、女子 50m バタフライ、男子 100m バタフライ、女子 50m 背泳ぎ、男子 100m 背泳ぎ、女子 50m 平泳ぎ、男子 100m 平泳ぎ、女子 50m 自由形、男子 50m 自由形、そして目玉競技の女子 400m フリーリレーと男子 800m フリーリレーが行われました。この日決勝にいったのは 6 回生の久保田さん。予選で生涯ベストを更新しての最後の大躍進でした。この先輩が来年からいなくなると考えると寂しく思います。

そして最後のフリーリレー。感極まって泣く人が大勢いましたが僕もその一人でした。キャプテンとして今まで頑張ってきたのですが結果が出せず悔しい大会だったので最後くらいベストを出してやるという意気込みで臨んでいました。結果としてはベストをあと 0. 数秒更新できなかったのですが納得のいくレースが出来て心からチームメイ

トに感謝しています。

この大会を通して初心者が大勢の水泳部ですがほぼ全員がベストをだして、さらに数人はもう少しで決勝までいけるところまで成長しています。年々西医体の水泳部のレベルが上がっているといわれていますが、負けないようにこれからも喰らいついていこうと感じました。



水泳部



水泳部

卓球部

◎主将 清水 光

今年の西医体卓球部門は 8/15 ～ 8/17 で行われ、豪雨というアクシデントもありましたが、大きな問題も起こらず無事終えることができました。

男子はダブルス 3 位、女子は団体戦ベスト 8 という結果も残すことができ、近年の卓球部としては

稀に見る好成績に恵まれて、また他多くの部員が納得のいくパフォーマンスをすることができたようで、部内でも喜びや満足の声広がっています。

普段の練習や 2 週間の強練と長い練習期間を経ての今回の西医体でしたが、目に見える形でそれぞれの部員に成果が表れ、全体的に上手くいった 3 日間だったように思います。



卓球部



卓球部

男子バレー部

◎主将 東 隼也

去年の西医体以降、あまりいい試合が出来ないことが多かったですが、今年の西医体では初戦敗

退はしたものの、雰囲気内容共にこれまでで最もよい試合となりました。今回の西医体の試合内容を忘れないようにして、次の一年を頑張っていきたいと思います。



男子バレー部

軟式テニス部

◎主将 石岡 広崇

軟式テニス部は男子が一回戦金沢大学に勝利、二回戦長崎大学に敗北。女子は二回戦広島大学に勝利、三回戦長崎大学に敗北。個人戦は石岡・加納ペアがベスト 16 で全医体への出場を果たしま

した。

コートの修繕など、OB の先生方のご支援に深く感謝申し上げます。6 回生が引退し新チームとなりますが、男女一丸となって頑張ります。今後とも軟式テニス部を宜しくお願い致します。



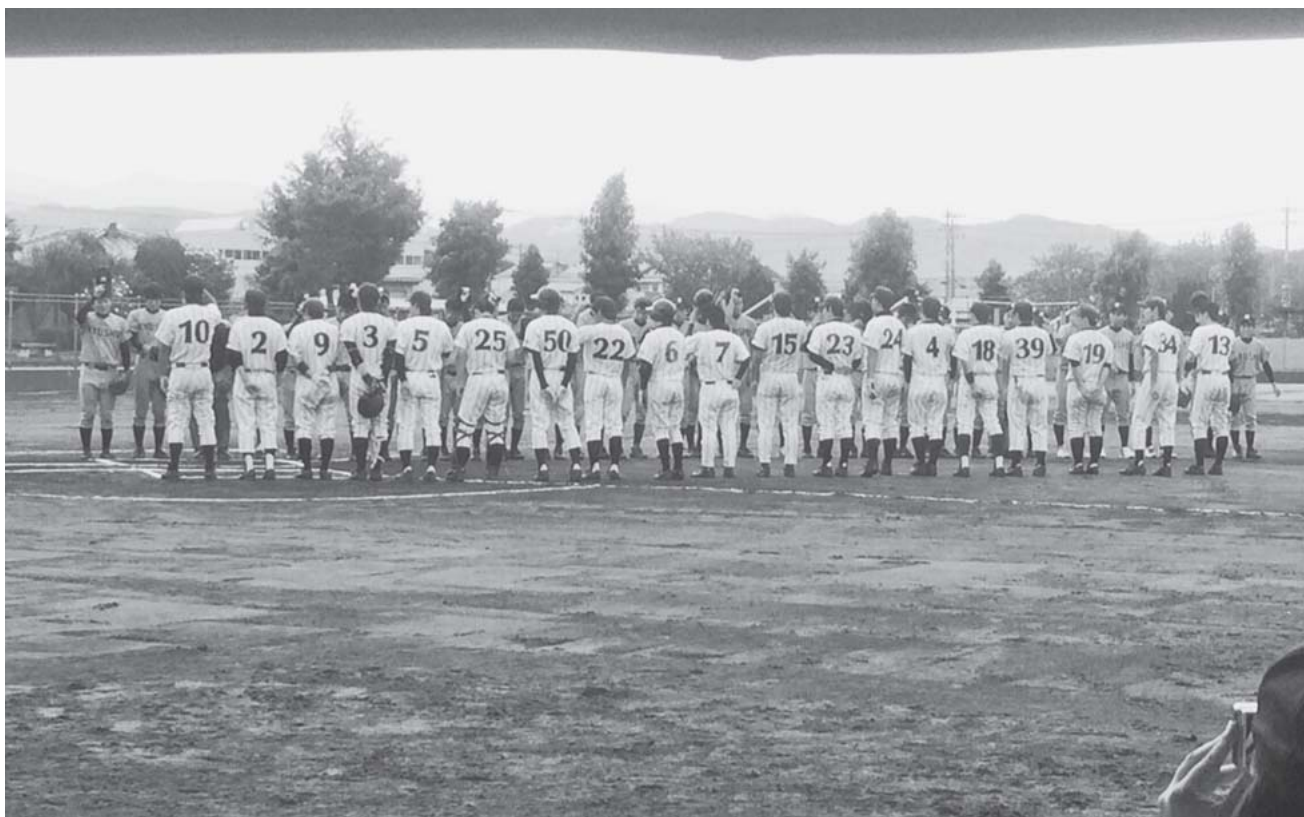
軟式テニス部

野球部

◎主将 村上 暉

準硬式野球部は一回戦負けとなってしまいました。2 日間の延期が続き、台風の中での強行試合となりました。暴風や大雨という悪条件に上手く

対応することができませんでした。しかしながら、全員が最後まで泥だらけになって球を追いました。天候には恵まれませんでした、絆を感じ合って野球部が一つになった西医体でした。



野球部



野球部

陸上部

◎主将 森田 英男

主な結果：

- ・ 4 回生 平野恵里子
砲丸投げ 6 位入賞 6m31
- ・ 5 回生 奥田聖瞳
1500m 8 位 4 分 15 秒 46
- ・ 1 回生 小嶋 茜
400m 4 位入賞 1 分 05 秒 91

感想：

台風接近のため、大雨・強風の中でしたが、今
持てる力を全て出し切ることができました。今年
の陸上部は怪我人が多く、満足のできる結果では
ありませんでしたが、いかにして怪我とうまく付
き合い、練習をこなすかと言うことに関して各自
学び、また課題も発見できたと思います。

10 月の秋の試合に向かって、西医体の強化練
習で得たことを無駄にせず、さらなる発展を目指
して頑張っていきます。



陸上部

学 会 報 告

第 41 回日本小児内視鏡研究会報告

2014 年 7 月 5 日に、第 41 回日本小児内視鏡研究会を開催できたことは、望外の喜びでございます。この研究会は 40 年の歴史があり、小児外科系医師と小児内科系医師が一堂に会して議論する研究会で、小児領域では貴重な研究会です。本年も小児外科と小児内科の先生方が一同に会し、呼吸器、消化器、泌尿器などの疾患についての内視鏡検査と内視鏡治療に関して、熱い討論が繰り広げられました。

本研究会は 40 年に渡り日本の小児内視鏡学に寄与し続けており、近年ではダブルバルーン小腸内視鏡やカプセル内視鏡が小児にも導入され、小児消化器病を志す若い医師にとってもなくてはならない会となってきています。

今回の特別講演は大阪医科大学の消化器内科の樋口和秀教授に「カプセル内視鏡の進歩」につい

て、また、教育講演は大阪鉄道病院の清水誠治先生に「炎症性腸疾患診断のプロセス」についてご講演していただきました。いずれも興味深いご講演で、同日夕の懇親会場でも話題となっております。

一般演題では小児に関する上部、下部消化管内視鏡、ERCP、気管支鏡、鏡視下手術などの幅広い内容について、34 題の発表がありました。また、炎症性腸疾患など、種々の疾患において診断や治療などについてご苦労されている症例などの発表もあり、参加された先生方の今後の診療の糧になればと願っております。

この歴史ある研究会の会を開催できたことは光栄であり、先輩の先生方の厚い援助もあり、大阪医科大学で活気ある研究会が開催できたと思います。以上のように小児の内視鏡に関しての様々な報告があり、有意義な研究会であったことをご報告し、同時にこの研究会に賛助していただいたことを感謝して、報告とさせていただきます。

第 41 回日本小児内視鏡研究会 当番世話人
余田 篤（学 30 期）



支部だより

報告 京都仁泉会 音楽の夕べ

森本博子（学 24）

京都仁泉会の夏の恒例行事の「音楽の夕べ」が今年も 8 月の最終日曜日、8 月 31 日に京都ホテルオークラで開かれました。

今年は弦楽四重奏団の演奏でした。今、大活躍の佐渡裕氏、葉加瀬太郎氏を輩出している堀川音楽高校の出身者を中心としたメンバーで構成された、「京の音屋・弦楽四重奏団」で、第一ヴァイオリン：内藤ルミ子、第二ヴァイオリン：今西彩葉、ビオラ：藤本信行、チェロ：一楽恒、の 4 氏の演奏でした。

演奏プログラムは第一部はクラシックでモーツァルトの「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」からはじまり、「G 線上のアリア」、などなじみの深い曲目で弦楽器の奥行きのある音色を楽しみま



した。第二部は 4 名の演奏者はカジュアルな服装に着替え、曲目もカーペンターズの「Close to You」、をはじめジャズのメドレーや坂本九の歌のメドレー、葉加瀬太郎の「ひまわり」、「情熱大陸」と続き、会場も皆リラックスしたムードでした。最後に「花は咲く」を演奏と一緒に全員で歌いました。

演奏会のあと水谷会長の挨拶、平井博先生の乾杯の発声で懇親会が始まりました。今回初めてご参加された安河内秀幸先生は 90 歳だそうですが、



奥様とご一緒でお元気なお姿をみせてくださいました。会場は和やかな雰囲気にあふれ各テーブルからは笑い声が響いていました。最後にお世話くださった富岡暉先生から来年は 8 月 30 日、というお知らせとともに中締め挨拶で開きとなりました。みなさま、なかなか別れがたくしばらくはお話が続いていました。参加者は家族もあわせて 38 名でした。

参加者：安河内秀幸・家族（高 18）、平井博（学 4）、町塚昭（学 8）、竹内邦夫・家族（学 10）、内田実・家族、加藤一博・家族（学 12）、大澤直、島田眞久、杉ノ下公子（学 14）、今村喜久子、岡田勝彦（学 17）、奥村正治・家族（学 20）、岡田豊子（学 21）、大藪博・家族、富岡暉・友人、丸尾馨・家族（学 22）、梶野興三・家族、西本孝（学 23）、森本博子（学 24）、浅野明美（学 25）、松本恒司・家族、水谷均・家族（学 26）、曾我部俊大、細井順、堀口典子（学 27）、寺村和久（学 37）

仁泉会阿倍野支部総会と懇親会の報告

平成 26 年 10 月 4 日（土）シェラトン都ホテル「伊勢の間」にて、本年度の阿倍野支部総会を開催しました。新規入会の森田眞照先生、利江先生を含め 20 名の同窓の先生方が集まりました。

総会、大阪鉄道病院からの話題提供、ミニコンサート、懇親会と盛りだくさんの内容の総会となりました。まず、藤本正三先生が「今年の 3 月に 10 数年ぶりに阿倍野支部総会が開催されたが、同年に定期総会が開催された事は、とても喜ばしい事であるので、今後も幾久しく同窓の輪をつなげていていただきたい。」と挨拶され、その後、総会の議事に移りました。報告事項として、支部総会が今まで開催されなかった経緯と支部会計の会計報告をし、出席の先生方の了承を得られました。協議事項としては、新しく作成した阿倍野支部会則と役員の選任について協議し、副支部長に新宅敬夫先生、幹事に中野晋吾先生、岡茂樹先生が選任されました。その後、会員表彰に移りまし





たが、藤本正三先生（米寿）、高木 力先生（傘寿）、文殊敏郎先生（喜寿）の三人の先生方に記念品を贈呈させていただきました。

次に、大阪鉄道病院からの話題提供があり、1 席目は循環器内科の宮本裕之先生が『見逃せない致命的な胸痛』と題し、心筋梗塞、大動脈解離、肺塞栓、緊張性気胸、食道破裂について、大変わかりやすくクリアカットにお話しくいただきました。2 席目は婦人科の熊谷広治先生が『遺伝性乳がん、卵巣がん』について多くの症例を提示し講演くださいました。普段、自分の科以外の話を聞く機会は少ないので大変興味深く聞かせていただきました。

講演の後には、二村吉継先生の奥様の西田真由子様のソプラノコンサートを楽しみました。オペラの歌曲や日本歌曲を取り混ぜた、西田真由子様の透き通るような歌声で先ほどまでの総会、学術講演会の緊張が一気に解きほぐされ、会員一同、笑顔で聴き惚れました。コンサートの後はシェラトン都ホテルに特別に、お願いした和洋折衷料理に舌鼓を打ち、ざっくばらんな雰囲気と同窓の親睦を十二分に図る事ができました。

最後に新宅敬夫先生が閉会の挨拶に立たれ、「再び、復活する事ができた仁泉会阿倍野支部の発展のために皆さま方のご協力、お力添えをお願いします。」と結ばれました。病診連携、診診連携も図れ、大変有意義な会でした。

今後は阿倍野区に勤務されている先生方はもちろんですが、阿倍野区在住の先生方で入会希望の

先生も大歓迎ですので、ご希望の方は大阪医大仁泉会本部までご一報ください。お待ちしております。

当日参加者：（敬称略 卒業年順）

藤本正三（学 2）、高木 力（学 10）、文殊敏郎（学 11）、新宅敬夫（学 23）福本敏子（学 24）、森田眞照（学 28）、森田利江（学 28）、伊賀千洋（学 29）横田博志（学 30）、中野晋吾（学 34）、中野久美子（学 34）、熊谷広治（学 38）成山 仁（学 39）、湊 恵美（学 41）、坂井昌弘（学 43）、二村吉継（学 49）宮本裕之（学 51）、永田大樹（学 53）、西田裕介（学 59）、太田見祐介（学 62）

（文責 学 24 福本敏子）

仁泉会東大阪支部総会と懇親会 「6 月小旅行」

学 28 期 三宅直子

仁泉会東大阪支部恒例の 6 月小旅行が 6 月 15 日（日）開催されました。

今年は京都八坂神社鳥居内の祇園「中村楼」で行われました。毎年 6 月第 3 日曜日に決まっていますが、いつも梅雨の時期にも関わらず好天に恵まれることが多く、今年もさわやかな天候に 19 人集まり半年から 1 年ぶりに会う先生方と楽しいひとときを過ごしました。中村楼といえば創

業 400 年の老舗で、私も以前 10 年くらい前にクラス会で行ったことがありますが、建物も本当に古くて階段もギシギシ鳴っていた記憶がありました。しかし今年 4 月改装が終わり、玄関まわりは昔のままの雰囲気、座敷は全く以前と違って新しくなり庭の見える京都らしい清々しい部屋での宴会となりました。

まず支部会長の大西洋一郎先生より開会の辞の後、亡くなられた高医 19 期志野義之先生に黙祷をささげ、仁泉会大阪府連会長の佐藤公彦先生から仁泉会の議題に入りました。一昨年亡くなられた四方朋子先生が大学へされた多額の寄付の話、仁泉会東大阪支部で布施医師会の笠原幹司先生（学 35 期）が大阪府医師会理事になられた話、三田稔先生が平成 26 年春の叙勲を受けられた話などの後、杉原正章先生の乾杯の音頭で宴会に入りました。

お料理はさすがに冷たいものは冷たく温かいものは温かく、見た目も涼しく美しく京都らしいお料理で堪能させて頂きました。中村楼の名物の豆腐の田楽も美味しく頂きました。

学 5 期の杉原正章先生は一時体調を崩されてお

られましたが今回は大変お元気な顔を見せてくださり嬉しかったです。藤本蕃先生もいつもお元気に一人で参加されます。相変わらず山登りが好きのようです。金城武忠先生は今回は奥様と娘さんの 3 人で参加されました。佐藤公彦先生は仁泉会でご活躍でいつもたくさんの情報をお話してくださいます。

恒川恵治先生はじめ他の先生方もいつもの楽しい話で盛り上がりました。

来年もまた元気で会うことを誓ってお開きとなりました。毎年美味しいお料理を頂き楽しい会ですので、東大阪支部の皆様どうぞふるってご参加ください。

出席者（敬称略）

杉原正章（学 5 期）、藤本 蕃（学 10 期）、佐藤公彦（学 12 期）、三田 稔（学 13 期）ご夫妻、金城武忠（学 16 期）ご夫妻、ご家族、恒川恵治（学 17 期）ご夫妻、塩路清一（学 20 期）、大西洋一郎（学 25 期）ご夫妻、築山順一（学 26 期）ご夫妻、大西敦子（学 40 期）、三宅裕治（学 28 期）、三宅直子（学 28 期）家族



仁泉会泉州ブロック第 1 回学術講演会

平成 26 年 10 月 4 日（土）午後 7 時より岸和田市浪切ホール 4 階交流ホールにて仁泉会泉州ブロック第 1 回学術講演会が 23 名の方の出席の下に開催された。

まず谷川 泉先生（学 10 期）から開会のご挨拶があり、以後先生が座長として会の進行も務められました。

基調講演 『大阪医科大学の現状と展望』

学校法人大阪医科大学理事長

植木 實先生

1. 学校法人高槻高等学校との法人合併
2. 看護学部 of 大学院（看護学研究科）設置
3. 健康科学クリニックの分院化
4. 中央手術棟の建築
5. 学校法人大阪医科大学の経営と運営
6. 大阪医科大学の将来展望

上記内容で本学の堅実な運営と将来に夢のあるお話を伺いました。

学術講演 『整形外科領域における慢性疼痛の

薬物療法』

医療法人大植会葛城病院整形外科

北野 直先生（学 45 期）

慢性疼痛の定義から薬物療法までを分かりやすくお話し頂きました。

講演会終了後、隣の会場で懇親会が持たれました。仁泉会大阪府連会長の佐藤公彦先生（学 12 期）の乾杯のご発声で宴が始まり、和やかな雰囲気の中で歓談が続き、名残は尽きませんでしたが次回ブロック会の開催を期して、三々五々散会しました。

参加者

岡本 治先生（学 8 期） 谷川 泉先生（学 10 期）
 笠原春生先生（学 11 期） 佐藤公彦先生（学 12 期）
 遠藤省三先生（学 23 期） 岡 秀雄先生（学 33 期）
 高 俊彦先生（学 35 期） 川崎康寛先生（学 35 期）
 福本吉人先生（学 35 期） 大槻美弥先生（学 36 期）
 酒井亮一先生（学 36 期） 児玉隆浩先生（学 39 期）
 山口和伸先生（学 39 期） 大植 睦先生（学 40 期）
 内海真木男先生（学 40 期） 住吉一浩先生（学 45 期）
 北野 直先生（学 45 期） 篠原和幸先生（学 46 期）
 中矢良治先生（学 55 期） 松本和寛先生（学 57 期）
 池田邦明先生（学 60 期）

文責 中 透（学 25 期）



クラス会だより

双葉会（学 28 期）クラス会報告

三宅直子（学 28 期）

学部 28 期双葉会のクラス会が平成 26 年 9 月 20 日土曜日、淡路島の洲本温泉ホテルニューアワジ別邸夢泉景で開催されました。一年おきに開催されるこの会は、今年は斉藤雅文先生ご夫妻、吉矢尚子先生、三宅裕治、直子で担当しました。前回三重県志摩観光ホテルで板野先生が幹事として伊勢神宮参拝のおかげを頂いてから、あっという間の 2 年間でした。

当初 38 名の参加予定でしたが、残念ながら急な不参加が 4 名出て、それでも 34 名が集まりました。今回は有馬温泉にしようと言っていたのを、昨年行われた双葉会女子会全員の希望

で斉藤君の地元の淡路島洲本温泉になりました。車以外の交通の便が悪いので参加人数がどうなるか心配していましたが、高速バスを利用するなど頑張ってくれて幹事は感激しました。

5 時半集合、庭で全体写真を取り 6 時半の宴会までしゃべったり温泉に入ったりお土産を買ったり自由にした後、いよいよ宴会です。斉藤雅文先生の「卒後 35 年のこの会はお互い“先生”という呼び名はなしで名前だけで呼び合しましょう。」という呼びかけで始まりました。精神科の米田君（本学教授）は大阪で夕方まであった会を抜け出し高速バスに飛び乗ったとのことで宴会の途中での到着でした。なんと佐世保からの貞松君は飛行機が少し遅れ神戸空港からタクシーに飛び乗りやっと高速バスに間に合ったものの、洲本のバスセンターに着いたのはホテルの最終送迎バスが出た後。しかしそれを知らなかった彼はホテルバスを 40 分待って、最終バスが出たと知った後うろ覚えのホテルを探し回りやっと辿り着いたとのことで宴会の途中皆に大歓迎されながらの登場でし



た。佐世保の高校生殺害事件についての裏話をあとで皆じっくり聞きました。しばらく歓談の後、近況報告の時間となりました。小出君は岡山から久しぶりの参加で、今まで病院長会議と重なって参加できなかったがこれからは参加しますとのことで、岡山の名木田君、平田君、平岡君のことを伝えてくれました。和歌山からの柳川君、三重からの板野君、徳島からの折野君、それから白川君は奥様同伴で楽しそうでした。後山君は大阪医大健康科学クリニックの所長で、人間ドックで 60 歳の平均年齢で全く健康の A 判定をもらう人は 0 パーセントであるというショッキングなことを教えてくれて健康の大事さを痛感しました。くださった雰囲気が一変したのは蘆田ひろみさんの時でした。突然「皆さん、起立！バレーをしましょう！」というかけ声で全員起立。バレーのポーズで深呼吸。なかなか面白い光景でした。

今回は京都でということで話がまとまり 2 年後に萩原さん、蘆田さん、松井君、今回は突然の欠席となった丹羽君が担当することになりました。そのとき突然折野君から議題があがり、「だんだん年を重ねてきたので 2 年後は遅すぎる。毎年しよう。」という話でした。「えーっ」という騒ぎの中多数決がとられ、賛成 3 名反対多数ということで否決されました。

楽しい宴会からそのまま流れて 2 次会の会場へ。皆様に心から楽しんで頂けたと確信し、幹事は本当に嬉しく思いました。ほっとしたのもつかの間。2 次会会場で松井君が「やっぱり年齢を考えると次回は来年にします。とってもいい所があるので秋の紅葉の頃、舞妓さんをよんで…」と、皆の反対を押し切る発言でした。どうなることやら…。全体の双葉会の間に一年おきに行っている双葉会女子会も、重なると困る！と思案中。とにかくいつものごとく賑やかな楽しい会でした。その後それぞれお風呂に入る人、部屋で騒ぐ人、部屋で寝る人、好き好きにし、翌日朝食後自由解散でした。もちろん参加した女子 5 人はお風呂、おしゃべり、お風呂、おしゃべりでチェックアウト 11 時までいたことを報告します。

週間予報では雨だった天気も近づくにつれ晴れとなり、本当にいい天気と気持ちいい温泉と、何も気を遣わなくていい友人同士のおしゃべりで、

心が爽やかになった一日でした。次回はいつになるかわかりませんが、京都組にお任せして今回の報告を終わります。

参加者 蘆田ひろみ 石岡達司 板野聡ご夫妻
後山尚久 小國龍也 小野誠治
折野真哉ご夫妻 小出尚志 小高正裕 斉藤治
斉藤雅文ご夫妻 貞松典宏 霜野良一
白川貴浩ご夫妻 田口忠宏 田村亮 中田英二
乃木稜介 萩原暢子 原章倫 松井昭彦
宮脇義隆 森田利江 柳川泰彦ご夫妻 吉矢尚子
米田博 和田公平 三宅裕治 三宅直子



仁泉会年会費

納入のお願い

年会費

平成 26 年度 10,000 円

平成 25 年度 10,000 円

平成 24 年度 10,000 円

納入のご協力をよろしくお願いいたします。

事務局 会計係

大阪医科大学昭和 55 年卒業 庚申二九会同窓会

藤原正隆（学 29 期）

2 年おきに開催されている庚申二九会の同窓会が、2 年前の淡路島での開催に続き、今年は秋が深まりつつある京都で開かれた。平成 26 年 9 月 20 日（土）の夜、リーガロイヤルホテル京都の 2F 宴会場「サロンド シャルム」に、33 名が集った。幹事の藤原と 6 年間同じサッカー部の釜の飯を食った大武君は遠路、栃木県から参加してくれて、36 年ぶりの再開を果たした。また城石君も富山から奥様を連れて参加してくれて、2 年ぶりの再会を喜び合った。庚申二九会のメンバーも、いわゆる「アラ還」世代であり、すでに石賀信史先生、大西徹哉先生、岡村良邦先生、沈晴雄先生を失ったが、幸いこの 2 年間では新たな帰天者は出なかった。

会は幹事の藤原の司会進行で始められ、たん熊北店の懐石料理を楽しみながら、各テーブルとも懐かしい話に笑い声が絶えなかった。間で、

Swing Tee's という京都のジャズバンドのミニライブを楽しんだあと、出席者それぞれが、一人ずつ近況や自分の趣味などについて熱く語った。一人 2～3 分の心づもりで話してもらった予定であったが、中には熱弁を振るうものもあり、予定していた 3 時間があったという間に経ってしまった。今回は 2 年後に神戸での開催が決まり、森松君夫妻にお世話をお願いすることを満場一致で決定し、2 年後の再会を約束してそれぞれの帰路についた。

前列左から、森松（伸）、小橋、藤原（正）、森松（幸）、小嶋（範）、藤原（祥）、中林、中張（裕）、小嶋（昭）、鈴木、濱田。

中列左から、中張（隆）、佐野、芦田、堀野、木戸上、湯川、坂口、橋本、吉川、小田。後列左から、梁、中村、大武、谷、池内、岩井、東、西村、森田（純）。



学 31 期（昭和 57 年卒）同窓会

大阪医科大学・学 31 期の 2 年ごとの同窓会が、平成 26 年 7 月 12 日土曜日 18 時から、神戸のトアロード北にある KOBE CLUB（外人倶楽部）で開催されました。卒後 32 年にもかかわらず、静岡や広島からも出席があり、47 人とかなりの参加人数となり、学 31 期の絆の強さを感じました。

神戸で開業している田村功君、西原徳文君、井尻慎一郎の 3 人が今回の幹事となり、準備をしました。司会の西原君の軽妙なトークで会場は和やかな雰囲気に包まれ、美味しい食事とワインに酔い、全員の自己紹介が進んでいきます。会場のあちこちで旧交を温める輪が出来て、3 時間があっという間に過ぎていきました。2 年後には京都での同窓会を開催することに決定して、全員の健康を祈念して、閉会となりました。

2 次会は中山手通の「だんらん」を貸し切って、37 人の参加者で遅くまで賑わいました。

同窓会ゴルフとして、7 月 10 日には廣野ゴルフ倶楽部で、雨天決行で（以下敬称略）稲毛、伊達、保田、井尻の 4 人でラウンドを開始、案外天気がよくなり、和気藹々とラウンドすることが出来ました。

7 月 13 日日曜日の神戸ゴルフ倶楽部には竹井、

辰巳、伊達、井尻の 4 人が集まったのですが、名物の霧と雨が強く、クラブハウスで 2 時間待ちでしたが、残念ながら結局中止となり、リベンジを誓いました。

7 月 17 日には廣野ゴルフ倶楽部で、竹井、谷口、井尻の 3 人で楽しくラウンドしました。

（文責：井尻慎一郎 学 31 期）

クラス会開催にあたって

クラス会開催にあたり、ご案内発送や出欠の集計等を仁泉会事務局にてお手伝いさせていただきますので、お気軽にご相談ください。

仁泉会事務局

TEL：072 - 682 - 6166

FAX：072 - 682 - 6636

E-mail：jimu@jinsenkai.net



向かって左から

最後列：高田、奥村(隆)、池田、瀬木、山口、田中(源)、伊達、奥田(龍)、手塚、渡邊、星山、辰巳、奥村(泰)、伊藤、中嶋
 3 列：山陰、磯谷、峯崎
 2 列：井尻、高崎、竹井、稲毛、吉川、山下、西原、李、寺崎、西村、南、河合、橋村、保田(晃)、荻原、保田(浩)
 前列：岡本、馬場、柳川、岸本、眞砂、田村、土肥、奥田(晃)、西野(代理で奥様が出席)、津田、岡部、長田、村山

学部 33 期生 卒後 30 周年同窓会報告

学部 33 期生（昭和 59 年卒業）の卒後 30 周年同窓会を、平成 26 年 9 月 27 日（土）に、大阪駅前ホテルグランヴィア大阪において、発起人；雨森正洋、田中（石橋）啓子、辻口（滝）比登美、野々村淳、前田環、事務局；岡博史で、開催しました。開催 1 か月前には 113 名全員に連絡が取れ、1 次会は 61 名の参加申し込みがありました。当日の欠席は 1 名のみで 60 名が参加し 50%を超える出席率となりました。

遠路、東は、千葉から越部融くん、東京から中村宏くん、岐阜から大松（松原）由希子さん、西は、広島から伊達健二郎くん、高知から赤松順くん、香川から武田智博くんが、来阪してくれました。

これは、4 月早々に開催の案内を発送しその後も電話や Fax で出欠を確認してくれた事務局担当の岡くん、宛先不明者の情報を寄せてくれた辻口さんや前田さんの貢献が大でした。さらに、集合写真撮影は 1 次会の最後に行った（これも岡くんの発案）ので、2 次会から参加予定の 3 名も間にあい、実に 63 名の撮影ができました。

当日は、野々村くんの乾杯後しばらく歓談した

のち、4 月に母校のがんセンター先端医療開発部門（消化器外科／大腸がん）特務教授になった奥田準二さんと脳神経外科特任教授になった梶本宜永くんにスピーチをしてもらいました。お二人に一同を代表して田中さんと辻口さんから花束贈呈を行いました。その後、一人毎では時間オーバーが必至と思われたので、テーブルごとに壇上に上がって 1 分間スピーチをお願いしました。30 周年で初めての参加であったり、お酒が回ったりで、時間オーバーの方が散見され、司会にははらはらしましたが、何とか予定の時間内におさまりました。中締めあいさつを、〈5 年後の同窓会の世話役〉大森（三上）敦子さんにいただいた後、集合写真を撮って 1 次会を終了しました。

2 次会は、場所を 1 階下のパブレストランに移動し、1 室を借り切って約 50 名が歓談を続けました。その後 23 時 30 分の閉店まで 25 名が残っている盛況で、さらに 3 次会に流れたひともいたらしいのですが、詳細は不明です。

文責 雨森正洋（学 33 期）



大阪医大 33 期生（昭和 59 年卒） 卒後 30 周年同窓会 平成 26 年 9 月 27 日 ホテルグランヴィア大阪

最上段左～ 下、野田、小畑、上野、北川（靖）、中村、辻口、前田（壮）、李、加藤（宗）、光吉、田中（功）、田中（俊）、神戸、多根、宮本
上段左～ 御前、安田、田伏、大山、衣斐、武田、伊達、田辺、野々村、藤井、福田、前田（環）、三宅、金原、龍治、山田、岡、雨森
中段左～ 濱本、高田、赤松、寺崎、大松（松原）、安住（橋井）、孫田（孫）、越部、萬野、島、本合、福永、進藤、村田、清木、井上（裕）
前段左～ 辻口（滝）、田中（石橋）、井上（澄）、長井、高田（野村）、浮村、梶本、奥田、大森（三上）、宇田、平松、室谷（植田）、川島

平八クラス会（学 45 期同窓会）

初夏の空のもと 7 月 26 日に阪急インターナショナルホテルで卒業初めての同窓会を開催しました。

大安の土曜日という難しい日程のなか仁泉会の手助けと卒業初めてということもあり 55 名もの参加があり同期の絆を再確認できました。

会に先立ち石崎君の報告と、この 6 月に残念ながら亡くなった入学同期の星加君へ黙祷を捧げ、総代の森内君の乾杯の発声で宴が始まりました。みんなのショートスピーチで近況報告をし合い、それぞれ責任のある立場でみな頑張っていることを確認し、そのあと、石崎君、佐竹君、野口君でバンド演奏をしてもらい、楽しい学生時代のような飲み会になりました。46 人もそのまま 2 次会に参加し本当に楽しい仲間たちと再確認できた会でした。

なお、ここで卒業準備委員会計の残金は大阪医科大学仁泉会に寄付いたしましたことを当日残念ながら会えなかった仲間にご報告いたします。

文責：可児弘行（学 45 期）

参加者

芥川寛、朝子晃憲、石崎英介、市岡従道、可児佳代子、榮樂周子、種田絵美、大前貴裕、岡田健一郎、岡村展明、奥野高司、表一岐、高橋雅子、可児弘行、金子雅宏、金光宣旭、加茂正嗣、河崎敦、川崎隆士、川田祥子、河原邦彦、川端幸一、喜田照代、北野直、兒玉隆之、後藤亮太郎、桜井幹士、佐々木一郎、佐竹晃、佐藤寛、島野裕史、住吉一浩、高山隆吉、田中朝子、中谷嘉寿、野口誉生、花岡忠人、速水真理子、原啓太、権順華、坂良逸、平岩哲也、古家美幸、中村容子、松橋延壽、丸山栄勲、操裕、大谷千史、森内宏充、森本一成、河田桂、清水貴美、堀郁子、吉田正隆、吉中亮二、渡邊哲



平成 26 年 7 月 26 日

大阪医科大学 45 期（平成 8 年卒）同窓会

於 ホテル阪急インターナショナル

リレーエッセイ

歴代の犬

学部 23 期 三宅ヨシユキ

室戸市で内科を開業していますが、余り流行っていません。老医には適度のリハビリみたいなものです。9 月に同期の柴田 登先生からリレーエッセイの話がありました。岐阜訛りは変わっていませんでした。ユーモアのある先生でお元気そうでした。彼とは卒業するまで共に剣道部員でした。

この 30 年、家に犬の居ない時期は無かった。最初の犬はどこの家庭でも同じことだろうが、小学生の子供達が世話をすると行って飼いだした。柴の雑種で生後 3 ヶ月位でダンボール箱で飼っていたが、中学生にもなると世話は私に廻ってきた。名前はコロと称した。猟犬の性格は持っていて家族以外に懐くことはなかった。時々リード無しで散歩をしたが、道の分かれる所では必ず待って私の進路を見ていた。コロが 10 歳頃コロの餌を食べに来る野良犬がいた。大きな犬で 3 歳位であっただろうと思われた。その内に住みついたが、コロには従った。後でわかった事だが、この犬は鉄砲の音を恐がり、打上げ花火の音にも怯えた。来た時は猟期であったが使いものにならず山で捨てられた猟犬で、人里に現れたのだろう。箒を持つと尻尾を下げて恐れていたので、野良時代はよく追われ、叩かれていたに違いない。名前を患者さんに聞かれたので、野良犬出身だから野良と名付けたと言うと、野良は可哀想だと言ったのでノラにした。ノラは野良とアクセントが違うのである。他人にもほとんど吠えず、入口に繋いでいたが宅配の人にも吠えず、ただ横になっていて、帰りに大きなノラに驚いていた。番犬にはなりそうに無いが、大きいので型にはなっていた。野良猫や野鳥を獲るのは上手であった。コロとノラは 5 年位一緒に住んでいたが、コロが上位であった。コロも 15 年の長命であったが、最後の 2 年は時々過性の脳虚血発作を起こしていた。死ぬ 2 日間

点滴なんぞしてしまったのは気の毒なことをしたと思っている。コロの晩年にシーズ犬が娘の所から現れた。コロもノラも外で飼っていたが、シーズ犬は室内犬で小さいくせに 2 匹に対して威張っていた。上から目線であった。コロの死のあと間もなく死んだ。残ったのはノラだけになった。朝か夕かの散歩は続けたが雨の時は休んだ。ノラも納得はしていた。大便も小便も 1 日辛抱しているのには感心した。雨の時は庭に放すことにしたが、死の半年前には白内障が進み、庭でも植木鉢にぶつかっていた。2 カ月間寝たきりになり、体位変換も大変で食餌の時は頭を持ち上げなくてはならず、飼主は腰を痛めた。昨年 10 月にノラは死んだ。これで我が家に犬が絶えたのではない。一昨年末に息子が大阪から黒い柴犬を生後 40 日位で連れてきた。これもコロと名付けたが、とても犬らしい犬ではない。ほとんど吠えないし散歩にも行けない。リードを付けると座り込んで動かないのである。室内と外で生活しているので私の部屋は汚い。もうとっくに成犬であるが子犬を見ても怯えるし尻尾を巻いて震えだす。野良猫が庭を歩いているのを見ると震え怯える。今もコロは私の机の下で眠っている。コロもあと 10 年は生きるだろうが、私は 80 歳を越えてしまう。どちらが生き残るか、コロが残ったら生きていくのは大変だろう。それよりもリードを付けて散歩が出来るようにと思うが、家人も従業員達も無理だろうと言っている。犬らしくしてやりたい。いやリードを付けられないのが犬らしいのではとコロは言うだろうか。3 匹の犬は裏の畠に眠っている。

バトン は、学 34 期で県下の睡眠障害関連の第一人者で県医師会の広報委員として活躍している、川田誠一先生にお願いしよう。よろしく。



会員追悼

今は亡き友、古賀教一郎君に捧げる

学 13 期 前三九会幹事 藤本 昭

昨年 11 月 23 日（土）24 日（日）に、大阪医大昭和 39 年卒の同窓会（三九会）の、卒業後 50 周年の記念すべき会に、なつかしい顔が集まって、盛大に行われましたね。あれからほぼ 1 年が経ちましたが、あの時に笑顔を見せてくれた君が今は帰らぬ人となってしまいました。

私が 50 周年の幹事をする事になり、記念にふさわしい会にしたいと思い、古賀君、横山君、富士原君の、いわゆる高槻組に色々相談して、会にふさわしい企画を作りました。お陰で自分が思ったより、立派な会となり、出席の面々からも、お褒めを頂きました。

君が、今年の夏頃から健康を害されたことを知りましたが、診察も続けられていたので、あまり深刻とは思っていませんでした。11 月の初めに、

君が入院していることを知り、お見舞いをかねて、会の相談に行った時も、大変元気そうで、長時間話しをさせてもらいましたね。化学療法のための入院で 1 週ぐらいで、また家に帰って、診察するんだと笑っていましたね。その時、君は、学生時代のポリクリの写真（卒業アルバム用）を撮って持っているのだけど、卒業アルバムに載せなかったもので、このことが、ずっと気になっていたと云われ、50 周年の記念にフォトブックにして皆に渡したいと云われたので、その様にお願いしたのですが、私費でフォトブックを作られ、タイトルを“学生時代の思い出”三九会卒後 50 周年記念として、全員の分を用意してくれて、当日の出席者には手渡しで、来られなかった人には、郵送で全員に配りましたね。お陰で会が一段と盛り上がり、楽しい会になり、皆様からのお褒めを頂きました。また、富士原彰名誉教授の歴史資料館での DVD、“わが学びやに歴史あり”も学生時代の本学の姿を知る貴重な記録として、残したものです。

本年 7 月 22 日、君の訃報に接し、まさか 8 ヶ月前の君が亡くなるなんて、と信じられなかった。



奥様と古賀君と横山君



左から、原君、松田君、富士原君、古賀君、中埜君

葬儀の時の安らかな顔を見ると、あの時から、自分の命運をさと、私達に最後の青春時代のプレゼントと、笑顔をくれたのだと感じました。

古賀君ありがとう。曲がったことが嫌いで、直すぐな人柄と、最後まで、昔のクラス仲間のこと

を大切に頂き、また自分の運命を受け入れ頑張った、君に敬意を表します。

もう一度、古賀君ありがとう。今は安らかに休息ください。また近いうちに再会を待って下さい。 合掌

仁泉ひろば

どうでもエエ話 (5)

学 4 期 西村 保

ギャンブルと食べ物

サンドイッチとは云うまでもなく薄く切ったパンにハムを始めとしチーズ、卵、野菜、果物などを挟み朝食、間食、携行食などとして広く普及している手頃な食べ物である。

18 世紀の英国で、ある伯爵家の四代目当主で

あったジョン・モンターギュ・サンドイッチ伯爵は 30 歳で海軍大将に任ぜられたほどの英才であったが（英国海軍は伝統的に高級士官は全員貴族階級出身者であった）無類のギャンブル好きで、ギャンブルに熱中すると食事する時間も惜しんで召使に命じ、手近にあったパンにハムを挟んだ物を手掴みで食べたのが有名になり、以後この食べ物をサンドイッチと呼ぶようになったのである。

鉄火とは文字通り鉄を熱して真っ赤になった状態を云うが、鉄火場と云えば賭博場を意味する。時代劇でお馴染みの半裸体のあんちゃんが「さあ張った、張った。丁半コマ揃いました。勝負！ピンゾロの丁」てな風景が目につく。

この博打場で胴元（主催者）が用意していた食

べ物が鮪の切り身とすし飯であった。鮪と云えば現在では高級魚とされ、中トロとか大トロとか称して珍重されているが、昔は赤身の魚は下司な魚とされ価格も安かった。すし飯を用意したのは腐り難かったからである。それでギャンブルに熱中した客が鮪の切り身をすし飯に包んで手掴みで食べたが、後に食べ易いように海苔で巻かれたのが鉄火巻である。

洋の東西を問わずギャンブルは勝つことがベストで、食べ物はお腹さえ大きくなればどうでもよかったのであろう。

また手軽な食べ物としてはホットドッグがある。冬の寒い日に野球やフットボールを観戦している観衆に対して、ある業者がロールパンにウインナーソーセージを挟み、それを温めて売り出したところ爆発的な人気を博した。その様子を見ていた或る漫画家がソーセージの代わりにダックスフント（ドイツ産で胴長で足の短い犬）がロールパンに挟まれている戯画を画いたのが評判になり、温めたダックスフント、略して犬、つまりホットドッグになったのだそうである。

まあ、おいしければどうでもエエ話ですがネ。

ヨット部創立 35 周年記念総会を終えて

新 OB 会長 中島祐介（学 53 期）

大阪医大ヨット部は 1979 年に同好会として発足し、その 2 年後クラブに昇格、今年で 35 年の歴史を持つクラブとなりました。現在、琵琶湖の「マリーナ雄琴」を艇庫に 470 級とスナイプ級の競技ヨットを中心として、少人数ですが練習と試合に励んでいます。ヨットは自然を相手にしたスポーツで、風や波を読み操船技術と戦略・戦術を競うスポーツです。クラブ活動を通じて自然と接し、また人間関係を学び、将来の医療従事者として貴重な経験が出来る素晴らしいクラブであると自負しております。

創部以来の OB は 90 名となり、毎年 8 月末には琵琶湖畔にて 1 泊 2 日の OB 総会を行い、学年を超えたヨット OB 戦で親交を深めています。今年は 35 周年という事で場所を変え、去る 8 月 30 日（土）ANA クラウンプラザホテル大阪にて OB と現役部員計 25 名が集まり、記念総会を持ちました。総会は OB 会長の梶野興三先生（学



新医師臨床研修制度 1

ぼん太 (学 31 期)

23 期)のご挨拶にはじまり、新 OB 会長の選出、救助艇の問題、OB 会会計、などについて議論しました。また、最後に現役部員から現状報告と西医体の報告がありました。

続いて創部部員のお一人である、現部長の上田晃一形成外科学教授(学 33 期)による乾杯のご発声で懇親会に入りました。懇親会では各先生方が旧交を温められ、終始なごやかな雰囲気で行進しました。今回の総会を期に OB 会長をご勇退される梶野先生へ、OB 会から記念品として救助艇「Ka・ma」のハーフモデルを贈呈しました。また、各先生方からの近況報告では、思い出話なども飛び出し笑いの渦に巻き込まれました。そして、最後に記念撮影を行い終了しました。OB の先生方からは、今後の OB 会運営について貴重なご意見をいただき、大変有意義な会となりました。

私は、今回新 OB 会長を拝命いたしました、今後も現役部員の活動を支援すべく全力で OB 会活動を行っていく所存でございます。現在、クラブの問題として部員数の減少がありますが、OB 会としましては金銭的な援助、ならびに練習への積極的な参加によって、現役部員の支援を行っていきたいと考えております。OB の先生方におかれましては、今後ともご支援、ご協力の程よろしくお願いいたします。

参加者(敬称略): 梶野興三(学 23 期)、上田晃一(学 33 期)、孫田虎鉄(学 33 期)、前村憲太郎(学 35 期)、島田哲志(学 36 期)、相馬義郎(学 36 期)、新武慶興(学 37 期)、杉本裕宣(学 38 期)、江村成就(学 39 期)、高木雄久(学 39 期)、新田昌稔(学 42 期)、高橋 元(学 44 期)、朝子晃憲(学 45 期)、石崎英介(学 45 期)、可児弘行(学 45 期)、加茂正嗣(学 45 期)、柳楽知義(学 46 期)、高橋 猛(学 49 期)、西山浩司(学 49 期)、中島祐介(学 53 期)、中島三和(学 53 期)、檜林 賢(学 53 期)、武田 翔(現役 4 回生)、辻本悠貴(現役 4 回生)、濱口拓也(現役 2 回生)



会 員 著 書

学部 23 期假野隆司先生の著書『「続」更年期障害』は存在しない』が平成 26 年 9 月 1 日栄光出版社より出版されました。假野先生のお言葉とともにご紹介させていただきます。

事務局編集係



著 書 「続」更年期障害』は存在しない
出版社 栄光出版社
〒 140-0002
東京都品川区東品川 1-37-5
電話 03-3471-1235
定 価 本体 1600 円 + 税

著者ご挨拶

一般向け第 3 作「「続」更年期障害は存在しない」を出版しましたので送付致します。

本書は前書「更年期障害は存在しない」の第二部です。頭痛、高脂血症、認知症、肥満症をテーマにしました。いずれの疾患も更年期障害として産婦人科医が診療する機会が少なくありません。しかし、前書で指摘したように婦人科愁訴を全て更年期障害と診断するとリスクを背負います。更年期障害は女性特異的で閉経前後に卵胞ホルモン

に逆依存性に発症・増悪して卵胞ホルモン補充療法で軽快・治癒する疾患です。今回テーマにした疾患も卵胞ホルモン依存性はゼロではありません。個人的意見ですが、アルツハイマー病発症に密に関係していると推測しています。ただし、発症した場合の HRT に期待はできません。いずれにしても、以上の疾患は HRT や漢方療法が著効しない場合は速やかに専門医に受診させないと訴訟リスクを背負うことになります。本書は患者向けとしては難解ですが、テレビの医療番組、インターネット、私の会社に寄せられる情報提供からオタクな患者はこの程度の知識があると知っておくべきです。クレーマーの人格特性には自尊性と多罰性が高く拘りが強い共通性があります。このため専門書を読みあさり知的レベルが高いために重箱の隅を突くので注意が必要です。

私は医学を歪めてきた文科系出身の医療ライターや医療ジャーナリストに強い反感を持っていますので一貫して彼らの修正や校正を拒否してきました。このため文章が稚拙で読みにくくなっています。お暇な時に笑読して頂いて御批判を賜れば幸いです。今後とも御指導・御鞭撻を宜しくお願い致します。時節柄御自愛ください。

学 23 期 假野隆司

会 員 書 籍 募 集

会員諸先生方の著書がございましたら事務局までご連絡ください。(自薦他薦は問いません)

誌面を通して広く会員の皆様にご紹介させていただきます。

事務局編集係



新聞切り抜き



2014 年(平成26年)9月28日(日曜日)

言

言

衆

民

 からだの質問箱

くらし健康

特発性正常圧水頭症と診断



脳内に髄液がたまる「特発性正常圧水頭症」と診断され、「脳室腹腔シヤント術」を勧められました。負担が少ない別の方法もあるそうですが、感染症のリスクが大きく、経験が少ないので勧められないとのこと。手術の選択と時期に迷っています。(70歳女性)

三宅 裕治

西宮協立

脳神経外科病院院長

(兵庫県西宮市)

特発性正常圧水頭症の治療は、脳内の髄液を腹へ流す脳室腹腔シヤント術と、背中から腹へ流す腰椎腹腔シヤント術に大別されます。手術時間、合併症発生率、身体への負担や効果は同程度で、どちらを選択しても間違いということはない

く、各施設の経験の多少で決められています。

ただ、脳を貫いて管を挿入する脳室腹腔シヤント術は、万が一出血すれば重い脳出血につながり、できれば避けたいのが本音かと思えます。腰椎腹腔シヤント術では術中に体位を変えることが多いために、そのために感染の危険性が高まることはありません。

1999年に行った全国調査では90%以上が脳室腹

日常生活に支障来すなら手術



腔シヤント術でしたが、最近では腰椎腹腔シヤント術が増えており、特発性正常圧水頭症に限ると昨年度の報告では55%が腰椎でした。

手術時期については、日常生活に支障がない間は経過観察でも良いと思います。が、歩行障害で歩行の機会が減ると筋力が低下し、いざ手術しても改善が不十分になる場合もあります。

脳外科手術の中では比較的にリスクの低い手術なので、日常生活に支障を来すような症状が表れたら、なるべく早期の手術をお勧めします。

決心がつかない場合は、腰椎から髄液を一定量排除し、症状の改善度を見るタッピングテストを受けるのも一つの方法です。効果を実感して手術を決心される患者も少なくありません。

「からだの質問箱」へのご質問は、住所、名前(紙上は匿名)、年齢、電話番号を明記の上、〒100・8055 読売新聞東京本社医療部へ。ファクスは03・3217・1960、電子メールはiryuu@yomiuri.com
なお、回答は紙上に限り、個別にはいたしません。

毎 日 新 聞
兵 庫 2014 年 (平成 26 年) 8 月 26 日 (火)

神戸学院大学

2000 年 4 月に開設が認可された回復期リハビリテーション病棟(以下、回復期病棟)という病棟がある。開設認可から 14 年が経過したことになるが、全国に約 7 万床存在する。超高齢化社会が到来している我が国では、病気やけがの治療が終わりに近づいた時点でも、その病気やけがに起因する身体に生じた不自由さ(障がい)が残っている方々が増加している。回復期

キーンと通る
和アイチと通る通る講座

障がい者 充実した生活を

回復期病棟

てかわかることで、その人らしい生活に戻ってもらうことである。
日本人として誇れることは、回復期病棟は外国から導入したのではなく日本人が独自に考案したシステムである点である。

障がいに応じた生活(少し拡大解釈かもしれないが残された人生)を共に考え、共に悩み、時には共に苦しみながらも、残された人生を送ることを提供し、日々の生活に必要な活動を練習していることであらう。障がいという言葉はどうしてもネガティブに捉えがちになるが、可能な限り残された人生をポジティブに捉

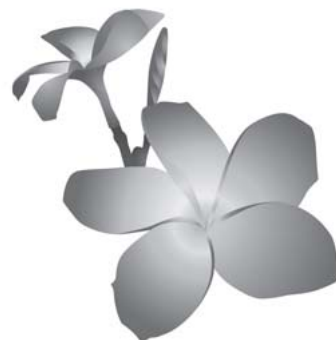
えていただくよう誘導している。暗い表情で回復期病棟にいられた方々が明るい表情で退院していくのを見ることが医療者として本当にうれしい。
回復期病棟運営にかかわるのに適切なリハビリテーション科専門医がまだまだ全国的には少ないのが今後の課題の一つであるが、これからも人にやさしい回復期病棟が増えていくことを期待する。
(リハビリテーション科専門医)



総合リハビリテーション学部

村尾浩教授

2014 年 9 月 28 日付け読売新聞に掲載されました三宅裕治先生(学 28 期)の記事、及び 2014 年 8 月 26 日付け毎日新聞に掲載されました村尾 浩先生(学 37 期)の記事をご紹介します。





冊子切り抜き



2014 年 9 月 1 日付け神戸市小児科医会ニュースに掲載されました故公文 康先生（学 9 期）の追悼特集をご紹介します。

公文 康先生 追悼特集



行政、医師会、医会、大学との協議に疲れた私は体調不良となり公文先生に会長を交代して頂き助かりました。平成元年頃より、丸山で適寿リハビリテーション病院を開設され小児科アレルギー科と共にリハビリテーションや園芸療法から更に終末期リハビリまで研究され実行されておられました。平成22年に神戸こども初期急病センターの実現を期に会長を辞され、平成25年9月17日79才の誕生日に逝去されました。

公文康先生、長い間ご苦労様でした。どうか安らかにお休みください。

公文 康先生を偲んで

神戸市小児科医会会長 二 宮 道 人

平成25年9月17日夕刻に、ご長男の敦先生からお電話を戴き先生のご逝去を知りました。

平成22年より肺難病疾患にてご療養中のところ、平成24年1月には肺感染症を併発され入院されましたが、ご退院後は適寿リハビリテーション病院にて治療とリハビリに専念しておられるとお聞きしておりました。

突然の訃報に言葉を失いましたが、先生から戴いた生前のご厚情に感謝のご挨拶を申し上げたいと存じます。

先生は昭和45年に神戸大学医学部小児科を辞されてから、公文病院の小児科一人医長として勤務され、救急医療を中心に精力的に診療活動を展開されました。当時から大石康男先生との病棟回診、臨床検討会を重ねられ、それがそののちの西神戸小児科カンファレンス、さらには西神戸小児科医会の設立に繋がっていきます。

昭和50年から公文病院小児科は当時の神戸大学小児科教授の松尾 保先生のご配慮により複数常勤医となり、神戸大学小児科に入局した小児科医は私を含め殆ど全員が公文病院で先生からの厳しくも愛情あふれる初期研修を受けたことが懐かしく想い出されます。

その頃、神戸市医師会の急病診療所では小児科の出務医師が少なく困っており、当時の近藤七郎会長からの依頼で「神戸市各区小児科医会連絡協議会」を立ち上げ、先生が代表として出務医の確保に尽力されました。

また、昭和54年には「神戸市第二次救急病院協議会」という医師会とは別組織が設立され、ここでも先生は

平成25年9月17日に公文康先生が急逝されました。

公文先生は、神戸市小児科医会で副会長、会長を歴任され、また神戸市の小児救急医療業務に長年にわたり携わってこられました。

ご生前のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

公文 康先生を偲んで

神戸市小児科医会顧問 大 石 康 男

私と公文康先生との出会いは、私が済生会兵庫県病院より帰任し病棟医長を拝命した昭和42年1月に大阪医科大学生化学教室で学位を取得され、神戸大学小児科へ入局された時だったと思います。すでに公文病院で当直を経験しておられたので、どうぞ自由にやって下さい、互いに協力してやっていきましょうと申したと思います。

病棟医長を1年半やり、次いで医局長となった昭和43年より医学部紛争が動きだし、44年には大学紛争が激しくなり、青医連と相対する立場で公文先生より色々と情報を頂き、努力しました。昭和45年に義兄の平瀬先生が亡くなられたので、大学を辞され公文病院小児科と平瀬診療所を手伝われ、小児救急に注力される事となり、私も昭和52年に開業しました時に先生が来訪され週1回公文病院の病棟回診を依頼され訪れる事になりました。

当時より先生の御努力にて西神戸小児科カンファレンス、次いで西神戸小児科医会さらに平成16年に神戸市小児科医会を設立され、私が会長となりました。公文先生念願の小児救急医療体制の整備を進めましたが

神戸市の二次救急の充実に精力的に取り組まれ、その成果は現在の神戸市二次救急医療システムに生かされています。

さらに平成13年には西区学園都市の神戸市医師会西神別館で「小児科休日急病診療所」が開設され、神戸市西地域の小児科休日診療が充実しました。しかし、先生の胸の内には「365日、深夜帯にも対応できる小児科初期急病診療所」が政令市である神戸市には是非とも必要であるという、ゆるぎない信念を持たれていました。ちょうどその頃、西神戸小児科医会を発展的に解消し、神戸市各地区の小児科医会を統合する案を先生が提唱され、それに賛同する会員173名により平成16年7月に「神戸市小児科医会」が設立されました。初代会長に大石康男先生が選出され、二期4年の後、二代目会長に公文 康先生が選出されました。この先生の会長任期中に、神戸市の小児救急医療体制の再構築が必要であるという機運が高まり、平成20年9月に神戸市行政、神戸市医師会、神戸市小児科医会、神戸大学による官民学参加の「神戸市小児救急医療事業団」が発足しました。ここでも先生は官民学の間を取りまとめるコーディネイターの役割を果たされ、その検討

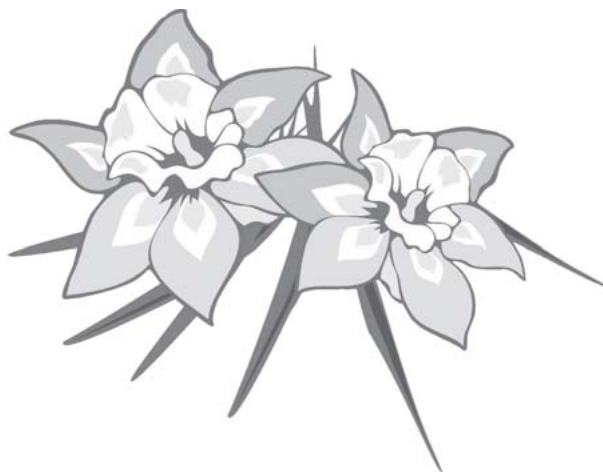
内容を「持続可能な小児救急医療体制の構築」という報告書にまとめ、神戸市長に提出致しました。その結果、平成22年12月に現在のHAT神戸にある「神戸こども初期急病センター」が開設されるに至り、先生の強い意願でありました「365日、深夜帯も対応できる神戸市の小児初期急病診療」が実現致しました。

平成24年に先生が会長を退任されるに際してのご挨拶には、「この神戸こども初期急病センターの発足を契機に神戸市小児科医会の会長を辞任することは、こども救急医療に携わってきた私にとりましては、幸せこの上ないことであります。」というお言葉で締めくくられています。センターの待合ホールには、先生のご配慮によって高知県人会から寄贈されたやなせたかし氏によるアンパンマンの原画が掲げられ、いつも笑顔で神戸の子どもたちを見守ってくれています。

公文 康先生、私たちは先生の残された偉大な業績を決して汚すことのないよう心掛けてまいります。

長い間、神戸の子どもたちのためにご尽力戴き、本当に有難うございました。

どうぞゆっくりとお休み下さい。



去り行く「夏の思い出」ワイド

盲導犬事件 刺傷だけじゃない 病んだ世情

卑劣、としか言いようがない。目の不自由な人の大切なパートナーである盲導犬が、何者かに刺される事件が起きた。

さいたま市に住む 61 歳の全盲男性が、オスのラブラドル・レトリバー「オスカー」(8 歳)と共に JR 浦和駅から電車に乗ったのは、7

西脇健三郎先生(学 21)のコメントが掲載されました 2014 年 9 月 14 日発行サンデー毎日及び 9 月 15 日発行 PRESIDENT の記事を、ご同期の古林光一先生にご紹介いただきました。

全国各地の新聞・冊子等に卒業生に関する記事が掲載されました節には、新聞・冊子等原本(印刷手続き後お返しします。)ならびに原稿等を事務局宛にお送りくだされば幸甚に存じます。

月 28 日の午前 11 時過ぎ。東川口駅で下車し仕事場に着くと、オスカーが血だらけになっていたのと同僚が気づいた。右の腰付近を鋭利な刃物で数箇所刺されていたのだ。ただ、オスカーが着けていたシャツには穴は開いていなかった。

「盲導犬は、むやみに吠えないよう訓練されている。それを知っていて、シャツをめくり犯行に及んだ可能性が高く、非常に悪質」と埼玉県警。武南署が器物損壊容疑で捜査している。

日本ライトハウス盲導犬訓練所の田原恒二所長は、苦痛の面持ちでこう語る。「目の不自由な人にとって盲導犬は一心同体、障害者の『目』なのです。ですから今回の事件は、被害男性の目玉に手を突っ込んだのと同じなんです」

田原所長によると、盲導犬は選ばれた優秀な犬に、人間社会に慣れるよう特別な訓練をし、1 年後、その 3 割ほどがなれるという狭

き門だ。周囲のことに動じず、吠えたり暴れたりしないよう育成されるのだ。

が、そこに付け込む嫌がらせは、他にもある。神奈川県視覚障害者福祉協会の鈴木孝幸理事長が明かす。「盲導犬の足を踏む、しつぽを引っ張るといったことは時折あるようです。でも、私たちは目が見えず、盲導犬も抵抗しないため、実態は把握できていません」

さらに複数の障害者団体を取材すると、いくつもの盲導犬被害が浮上した。

たばこの火を押しつける。ライターで毛を燃やす。歩行中の行く手を阻む。故意にぶつかってくる。犬に唾を吐きかける。犬の顔にいたずら書きをする……。弱者に向けられた「刃」は今の世相の反映なのか。

精神科医の西脇健三郎氏は、社会構造の変化に因があると言語。

「経済成長で私たちは豊か



何者かに刺された盲導犬＝佐藤徳寿さん提供

になり、安全・快適・便利な社会を手に入れました。が、それを維持し、より進めようとする中で歪みが生じ、他者に不寛容な人が増えてきた。その愚劣しさから、反社会的な行動に出してしまうことがあるのです。

施設で無抵抗のお年寄りや障害者を痛めつけるような事件が時々起こりますが、同じ構造と考えられます。

幸い、オスカーの傷は癒えつつあるという。が、心の傷は……胸が痛む。

「あなたのランプの灯を、いま少し高く掲げてくださーい／見えぬ人の行く手を照らすために」

ヘレン・ケラーのこの言葉を、忘れてはならない。ジャーナリスト・青柳雄介

情報スクランブル

↓ NEWS FILE

個人情報

県の怠慢! 「佐世保同級生殺人事件」は、未然に防げた

過去の長崎県なら
救えた命

七月二六日、長崎県佐世保市で高校一年生の女子生徒（二五歳）が殺害された事件で、殺人の疑いで逮捕された同級生の少女（二六歳）は、精神鑑定のため三カ月間の鑑定留置中である。

今後、家庭環境や事件に至る心の変化などを調べ、分析することになるが犯行のいびつな衝動の解明には時間がかかりそうである。一方で、事件の真相究明とともに別の問題も浮上している。

今年六月一〇日、佐世保こども・女性・障害者支援センター（児童相談所）へ、加害少女を診察している精神科医から「この子は危ない。人を殺しかねない」と通報が入った。その際、精神科医は自分の名前は名乗ったものの、少女の氏名や住所、高校名などの情報は伝えなかったという。八月一日付の朝日新聞によると、これに対し長崎県こども家庭課は、「必要な場合は関係機関と連携するが、どの誰かがわからなければ情報提供のしようがない」と説明したという。だが、本当にそうだろうか。長崎県では過去に、迅速に対応した二つの事例がある。

一九九六年二月二二日、県教育委員

会が設置した相談窓口「親子ホットライン」に、高校二年生を名乗る女子生徒から電話があった。最初は無言だったが、次第に消え入るような声で、「夏休み明けから友達にいいめられ、お金を要求されている」「自分が死ねばすべて解決する。きょうは家に帰らない。死にたい」



被害者が通っていた高校の記者会見(2014年7月27日)。

こう自殺をほめかしていた。三〇分ほど低い声でボソボソと話した後、「もういいです。心配をおかけしました。ありがとうございました」と言っ、電話は切れた。深刻な内容から、当時の県教育委員は緊急アピールでこの女子生徒へ次のように呼びかけた。「どんな理由があっても、自らの命を

絶つことはやめてください。まわりの人みんながあなたのことを心配しています。わかつてくれる人は必ずいます」さらに、該当する女子生徒の所在確認をするため、県内の全高校と連携し女子高生二万人近くを調査。結局、当該女子生徒はわからなかった。懸命な呼びかけが奏功したのか、その後、最悪の事態は回避されたようだった。県は、異例の速さで県内すべての女子生徒に聞き取り調査を行っていたのだ。

もう一例。二〇一一年五月、県福祉保健部に一通の匿名メールが届く。長崎市にある西脇病院の医療安全管理についてだった。西脇健三郎院長が語る。「五月一六日に市保健所から連絡があり、翌日、立ち入り調査が行われました。そして、当院の安全管理に関する問題はないとの回答を市より受け取りました。医療法に基づく監査は年一回ありますが、こうした抜き打ち監査は、患者の生命や人権が侵されている危険がある」とされた場合。問題なしとされましたが、市に釈明を求めても独自の判断で行ったと主張するのみです」長崎県当局は独自の判断で迅速に対応を行ってきたのである。

では、今回の佐世保事件のケースでは、精神科医からの通報があったにもかかわらず、なぜ動き出せなかったのか。医師は患者から得た個人情報などについて「正当な理由」がなければ第三者に提供してはならない、と刑法は規定している。しかし今回の場合は「正当な理由にあたる」と考えられるのではと指摘する専門家は多い。行政当局も、少女の氏名等が不明でも踏み込んだ対応をすべきだったのではないかと、私どもとしては現段階で公式に説明はしておりません」と言うのみだ。前述の自殺予告電話の際に県教委は、「本来、相談内容は外部に出さないが、今回、子供の命を優先する立場から公開した」と説明していた。緊急を要する場合では、総合的な見地から、プライバシーを守ることよりも人命救助優先の対応をしてきた実績が長崎県にはあったのである。長崎市の市民団体「いじめ解消ボランティアネットワーク」(松尾竹文代表)は、「県の教育に厳しい批判が寄せられている。行政の対応に問題がなかったかを検証し公表すべき」と、県教委に申し入れを八月一日に行なった。

今回は行政の独自の判断で、迅速に動くべき事案ではなかったか。長崎県当局の責任と姿勢が問われる。

P

青柳雄介＝取材・文 朝日新聞社／時事通信フォト＝写真

本部だより

支部長交代

〔岐阜県支部長〕

前支部長 小木曾和夫先生（学 25 期）



新支部長 小嶋昭次郎先生（学 29 期）

〔岡山県支部長〕

前支部長 水島圭一先生（学 29 期）



新支部長 小出尚志先生（学 28 期）

〔西成区支部長〕

新支部長 佐々木伸一先生（学 38 期）

お詫びと訂正

平成 26 年 9 月 30 日発行第 45 巻 8 号仁泉会ニュースに誤りがございました。

誌面をお借りしてお詫び申し上げますとともに訂正させていただきます。

会員計報（38 頁）左段 7 ～ 8 行目

（高医 17 期 林 要先生）

誤：昭和 21 年卒



正：昭和 23 年卒

仁泉会ニュース原稿募集のお知らせ

次々号、仁泉会ニュース 46 巻 2 号の原稿を募集しております。近況のご報告や趣味のお話、なんでも結構です。ご投稿お待ちしております。

仁泉会ニュース 46 巻 2 号

（平成 27 年 3 月 1 日発行予定）

頁 数：24 ページ組

締 切：平成 27 年 1 月末日

送付先：仁泉会事務局

〒 569 - 8686 高槻市大学町 2 番 7 号

E-mail：jimu@jinsenkai.net

会 員 計 報

次の会員が亡くなりました。謹んでご冥福をお祈り致します。 事務局編集係

高医 16 期 赤塚碩夫先生

平成 26 年 10 月 4 日肝胆癌の為ご逝去（92 歳）。昭和 22 年卒。

大阪市生野区にて外科をご開業になり、ながきに亘り地域医療に尽力されました。

ご遺族 次男 育伸様

高医 17 期 森寺 保先生

平成 26 年 9 月 11 日肺炎の為ご逝去（90 歳）。昭和 23 年卒。

昭和 28 年 5 月より大津市民病院にて眼科医長をお務めになられた後、昭和 39 年 4 月に大津市にて森寺眼科医院をご開業になり、50 年間地域医療を支えてられました。

ご遺族 長男 威之様

高医 19 期 百石一雄先生

平成 26 年 8 月 9 日肺炎の為ご逝去（87 歳）。昭和 25 年卒。

卒業後、大阪市天王寺区にて内科をご開業になり、地域医療に貢献されました。

ご遺族 妻 昭子様

学部 2 期 島村 武先生

平成 25 年 8 月 17 日脳梗塞・多臓器不全の為に逝去（85 歳）。昭和 28 年卒。

昭和 40 年に奈良市にて外科・内科をご開業になり、奈良県、奈良市医師会理事をはじめ基金、国保連合会審査委員などを兼務されました。長年にわたる地域医療貢献により、平成 21 年春の叙勲で旭日双光章を受章されました。

ご遺族 長男 和典様

学部 2 期 畠山昭三先生

平成 26 年 7 月 21 日脳出血の為に逝去（86 歳）。昭和 28 年卒。

奈良県立医科大学眼科に入局された後、昭和 46 年に三重県名張市にて畠山眼科を開設されました。「約 40 年間以上地域医療と向きあい、力を注いでこられた事は本人にとっても充実した日々であったと思います。60 歳頃には日本眼科医会の理事も務めさせていただき、せっせと東京に通っていました。晩年はパーキンソン病を患い、名張の静かな里で長らく療養して参りました。寝たきりになる事を恐れ、何より一所懸命リハビリをしていた姿が目には焼きついております。」との奥様のお言葉です。

ご遺族 妻 雄子様

学部 2 期 森 繁男先生

平成 18 年 1 月 15 日肺炎の為に逝去（80 歳）。昭和 28 年卒。

吹田第一鉄道診療所、住友生命京都南支店にて内科医として勤務されました。

ご遺族 妻 弘子様

学部 3 期 長谷川 鉦先生

平成 26 年 6 月 18 日肝細胞癌の為に逝去（85 歳）。昭和 29 年卒。

愛知県豊橋市にて内科をご開業になり地域医療に携わってられました。

ご遺族 妻 喜美子様

学部 3 期 矢野敏郎先生

平成 25 年 3 月 9 日多臓器不全の為に逝去（86 歳）。昭和 29 年卒。

卒業後入局された京都大学眼科にて博士号を取得されました。関連病院に出向後、兵庫県明石市にてご開業になり、地域医療に尽力されました。

ご遺族 妻 奈緒子様

学部 8 期 小嶌祥介先生

平成 26 年 3 月 31 日誤嚥性肺炎の為に逝去（80 歳）。昭和 34 年卒。

昭和 44 年 6 月 1 日高槻市にて眼科をご開業になりました。平成 1 年 6 月 16 日医療法人小嶌眼科医院を成立され、理事長として地域医療に貢献されました。

ご遺族 長男 祥太様

学部 11 期 宇川進逸先生

平成 26 年 9 月 1 日不慮の窒息の為に逝去（83 歳）。昭和 37 年卒。

大阪市西区にて宇川クリニック（内科・呼吸器科）を開設されました。

ご遺族 義子息 田熊祐介様

学部 18 期 矢田博之先生

平成 26 年 9 月 22 日腭頭部癌の為に逝去（71 歳）。昭和 44 年卒。

卒業後同年 6 月より母校にて研修医として勤務されました。昭和 49 年 1 月に宇治市にて矢田会皮膚泌尿器科病院をご開設になり、地域医療を支えてられました。

ご遺族 長男 敬人様

学部 23 期 重清政章先生

平成 26 年 7 月 19 日急性心筋梗塞の為に逝去（66 歳）。昭和 49 年卒。

徳島大学にて博士号を取得されました。高知市民病院、国立善通寺病院でのご勤務を経て、昭和 58 年より徳島県阿波市にて重清内科・外科を開設されました。

お元気にしておられましたが、突然お倒れになったとの奥様のお言葉です。

ご遺族 妻 純子様

仁の泉

この度、学 45 期の皆様より仁泉会事業へのご支援を賜りました。

諸先生の御芳志に厚く御礼を申し上げます。

仁泉会役員一同

年末年始 休業のお知らせ

平成 26 年 12 月 27 日(土)
から平成 27 年 1 月 4 日(日)
まで、事務局はお休みと
させていただきます。

ご不便をおかけします
が、ご了承のほどお願い
申し上げます。

編集後記

今月号冒頭の記事は、台北医学大学同窓会と仁泉会の姉妹協定締結を取り上げました。小筆も締結式に同席させていただきましたが、台湾の先生方は非常にフレンドリーな方たちばかりでした。台湾も日本統治下の時期があったのに、友好的なのは国民性でしょうか。安藤副理事長も本文中に書いておられますが、小児科准教授の張先生は本当に日本語にご堪能でした。お聞きしたところでは、小学生時代は大阪堺で過ごされ、中・高はシンガポールにおられたので英語もお手のもの。バイリンガルならぬトリリンガルと何とも国際的な方でした。ちなみに中野隆史先生（大学専門教授、仁泉会理事）も米国留学の経験を生かして通訳をしてくださいました。台北医学大学は医学部以外の歯学、薬学、看護、医療系技師等を含める

と 2 万人以上の学生を有するそうです。学生間でも定期的な交流が持たれていますが、うれしいことに本学学生の評判はとても良いとのことでした。

その他本号では現役学生諸君の西医体報告（残念ながら全体に低調な結果だったようですが）や各学年、支部の同窓会だより、叙勲のお知らせ、著書紹介など、いつにもまして多数の記事を掲載したため大部になっています。ページ数が増えたことによって編集に手間がかかることなど一向にいいいけませんので、ぜひこれからも多数のご投稿をお願いいたします。年内の仁泉会ニュース発行は本号が最終になります。同窓諸兄姉の皆様にとりまして来年がよい年になりますことをお祈り申し上げます。

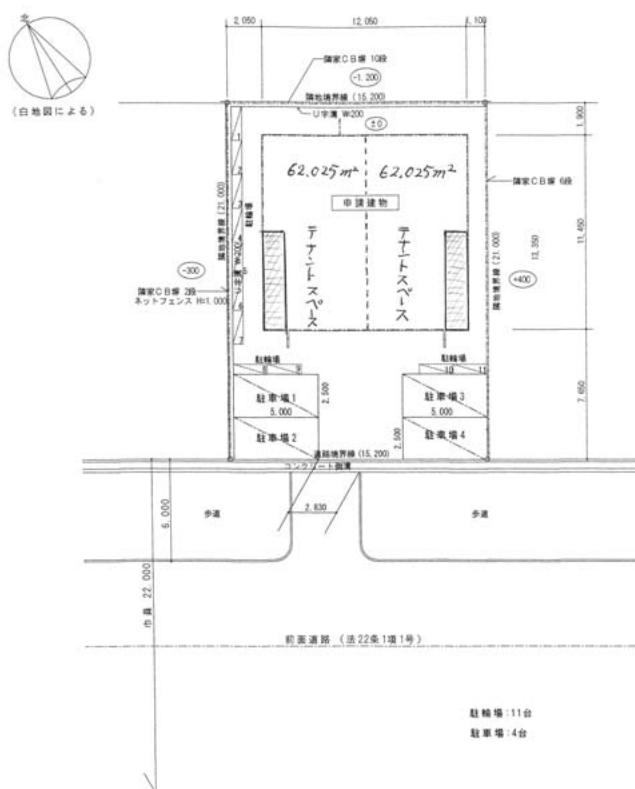
(治)

テナント募集

場所：京田辺市松井ヶ丘3丁目1-5
JR 片町線（学研都市線）
松井山手駅 東へ約 400m
山手幹線沿（京阪バス停前）

物件：新築物件 1階部分
面積：124.05㎡
家賃：380,000円/月
道路向い：伊原内科医院
二軒西隣：浜口キッズクリニック
及び調剤薬局あり
眼科、整形外科最適

詳細：072-856-1470
KK 大京不動産センター
川崎まで



医療ビルテナント募集

場所：大阪市浪速区難波中2丁目3-3

3F エリア：約 40 坪

坪単価 12,000 円（要相談）

保証金 家賃の 10 ヶ月分（要相談）



クリニックビルのテナントを募集いたします。3F エリアになります。
1-2F は、内科・胃腸科
4F は、皮膚科・形成外科
5F は、婦人科
開業中
大阪難波駅すぐという好立地条件。

開業をお考えの先生方、お気軽にお問い合わせ下さい。
詳しくはお電話にて。

学 36 期 森川浩志

心療内科・眼科・耳鼻科など最適

お問い合わせ先
仁泉会事務局
TEL 072-682-6166

“大阪医科大学関係者の皆様”へ

FELICE で フェリーチェ 理想の結婚

フェリーチェは、メディカル人材企業との提携を通じて、
医療の第一線で活躍の医師・歯科医師を中心にお迎えし、
理想の結婚をプロデュースすることを目的として
創設された会員制クラブです。

万全の個人情報管理と医療業界を熟知した専任コーディネーター
だからできる「洗練された出会い」をあなたに。

< 成婚事例 >

男 性		女 性
31歳 大阪医科大学 医師	♥	29歳 大阪外国語大学 会社員
39歳 関西医科大学 医師	♥	33歳 兵庫医科大学 医師
35歳 大阪市立大学 医師	♥	31歳 大阪医科大学 医師
34歳 慶應義塾大学 医師	♥	26歳 神戸女学院大学 英語教師
36歳 神戸大学 医師	♥	33歳 関西医科大学 医師
37歳 大阪医科大学 医師	♥	31歳 山口大学 医師
37歳 大阪大学 医師	♥	30歳 武庫川女子大学 薬剤師
33歳 大阪医科大学 医師	♥	27歳 神戸薬科大学 薬剤師

大阪医科大学関係者様 限定キャンペーン

詳しくはお問合せください。



フェリーチェは、個人情報保護を第一に、あえてオーソドックスなスタイルを守り、
医療業界を熟知した専任コーディネーターがご本人様のお人柄・ご要望をしっかりと把握し、
最適なお相手をご紹介します。

●入会資格

◇男性25歳～50歳 医師、歯科医師

◇女性20歳～37歳 医師または短大・専門学校卒以上

男女ともに結婚をお考えの独身者の方

※上記条件を原則として、そのほか本クラブの独自の入会審査基準がございます。

詳しくはフリーダイヤル、またはホームページにて、フェリーチェのすべてがわかる資料をご請求ください。

☎ 0120-683-156 www.felice.cc

フェリーチェ

検索

受付時間 / 10:00～20:00 水曜定休日

※「フェリーチェ」で検索してください。

フェリーチェはおかげさまで **創立12周年** を迎えました。そして、約4000社ある事業者の中で「会員内容の的確さ」「スタッフのサポート体制」など
11項目からなる「顧客満足度の高い会社」**2年連続 総合1位** (オリコン株式会社調べ) との評価をいただきました。
今後とも「真の顧客サービス」を目指し、皆さまのご結婚を全力でサポートさせていただきます。

無料 親御様向け説明会のご案内

- 開催日時：12月2日(火)、11日(木)、12日(金)、16日(火)、18日(木)、19日(金)、25日(木)、26日(金)
1月16日(金)、20日(火)、22日(木)、23日(金)、27日(火)、29日(木)、30日(金) 各日14:00～
- 会場：芦屋ラウンジ・銀座ラウンジ
- 専用ダイヤル：芦屋 0797-25-1076 / 銀座 03-6228-5720 (10:00～20:00、水曜定休日)

毎月1300件以上のお見合いをコーディネートしているプロフェッショナルがどんなご相談にもお応えします。

プライマリッジ株式会社
www.prime-marriage.com



結婚相手紹介サービス業認証機構より適正な
サービス事業者として認証付与を受けています。



経済産業大臣認定
「認定個人情報保護団体」対象事業者

個人情報管理・プライバシー保護には
細心の注意を払っています。

銀座ラウンジ 〒104-0061 東京都中央区銀座6-4-1 東海堂銀座ビル4F / 横浜ラウンジ 〒220-6004 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-1 クイーンズタワー-A4F
芦屋ラウンジ 〒659-0068 兵庫県芦屋市葉平町6-16 芦屋ファルファール4F / 梅田ラウンジ 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-11-4 大阪駅前第四ビル10F